

事務事業名		茨城県青少年相談員連絡協議会参画事業						事業区分		担当	
								新規/継続	継続	事務事業No.	030303000657
		政策体系上の位置付け						単独/補助	単独	所属課	090601
総合計画の施策名		0303	青少年の健全育成				主要事業	対象外	生涯学習課		
政策体系	政策名	03	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり				市長マニフェスト	対象外			
	施策名	03	青少年の健全育成				未来PJ事業	対象外	グループ	生涯学習G	
	基本事業名	03	地域教育力の充実				合併建設計画事業	対象外			
財務会計上の位置付け								事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	単年度繰返し		(年度～)	
	01	10	05	05	01	00	青少年対策事業	➡ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
法令根拠											

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

## (1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要（事務事業の全体像）	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>県内青少年相談員の資質の向上と地域における青少年相談員活動の推進を図り、青少年の健全育成と非行防止に資することを目的としている。</p> <p>また、子どもたちが安心・安全で生活し、健全に育まれることを目指して、家庭や学校、地域、そして警察等関係機関・団体と連携・協働することもとより、各種研修会等を実施することにより、青少年相談員の資質向上を図る。なお、相談員活動の一層の適正化及び活性化が図られるよう各市町村協議会を支援し、青少年に及んでいる様々な問題に対応していくとともに「青少年の健全育成等に協力する店」登録等活動の推進など、青少年を取り巻く社会環境の改善に、より一層取り組む事業である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県事務局との連絡調整事務</li> <li>・負担金納入</li> <li>・事業への参加(理事会、地区会長会議、研修大会、新任研修会等)</li> <li>・功労者表彰の推薦事務</li> <li>・青少年の健全育成に協力する店及び環境浄化啓発委託事業に関する事務及び補助金関係事務</li> <li>・図書等自動販売機関係事務</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	26年度 （実績）	27年度 （実績）	28年度 （計画）	29年度 （目標）	30年度 （目標）
・県事務局 茨城県庁 女性青少年課 ・負担金納入 500円×40名＝20,000円 ・表彰者推薦 ・店舗訪問及び環境浄化啓発委託事業の実績 ・補助金関係事務 ・有害図書等自動販売機立入調査関係事務	理事会回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	研修大会回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	新任相談員研修会	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	26年度 （実績）	27年度 （実績）	28年度 （計画）	29年度 （目標）	30年度 （目標）
青少年相談員	桜川市青少年相談員数	人	39.00	40.00	41.00	41.00	41.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	26年度 （実績）	27年度 （実績）	28年度 （計画）	29年度 （目標）	30年度 （目標）
青少年相談員の資質の向上と地域における 青少年相談員活動の推進を図る。	理事会出席者	人	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	新任青少年相談員研修会出席者	人	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

## (3) 投入量(事業費)の推移

(3) 投入量（事業費）の推移				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	総投入量	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	21	20	21	21	21	0
	事業費計（A）		千円	21	20	21	21	21	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人		
		述べ業務時間	時間	55.00	7.45	30.00	30.00	30.00		
		人件費計（B）	千円	160	22	87	87	87		
トータルコスト(A)+(B)			千円	181	42	108	108	108		

## 27年度事業費 実績 (千円)

## 28年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	19 負担金補助及び交付金	20			19 負担金補助及び交付金	21		
				合 計	20			合 計

(4) 当該年度の実施内容

## 28年度の事業内容

## 29年度の事業内容

## 30年度の事業内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する

- ・主要事業
- ・市長マニフェスト
- ・未来PJ事業
- ・合併建設計画事業



事務事業名	茨城県青少年相談員連絡協議会参画事業	事務事業No.	30303000657	所属課	生涯学習課
-------	--------------------	---------	-------------	-----	-------

## 【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 昭和57年5月に青少年相談員の資質の向上と地域における青少年相談員の推進を図り、青少年の健全育成と非行防止に資することを目的に始まった。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 「青少年相談員の資質の向上及び情報交換の場として有意義である」との意見が青少年相談員から寄せられている。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

## 【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

## 評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	「子どもの見本となる保護者意識」を高める相談・支援体制を充実し、ふれあいのある家庭づくりを推進することが目的のため結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	青少年相談員の資質向上及び情報交換の場として必要であり、かつ地域における青少年相談員活動の連携が図れることから妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input type="checkbox"/> 向上余地がない	県が主体となって事業を行っており、また桜川市としても県主催の各種会議・研修会等に進んで参加しているため、向上余地はない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	青少年相談員の資質向上及び情報交換の場が失われ、県内青少年相談員の連携が図れなくなるため廃止、休止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性ありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒	具体的な手段、事務事業名
	<input type="checkbox"/> 余地がない	県の事業のため他に手段はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地（成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input type="checkbox"/> 削減余地がない	必要最低限の人件費であり、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	県内全市町村が加入し、会費を納入しているため、公平・公正である。

## 【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	・県内全市町村が加盟しており、青少年相談員の資質の向上及び情報交換の場としてたいへん有意義な事業である。なお、研修大会は毎年工夫を凝らした内容で実施している。 ・桜川市の「青少年の健全育成に協力する店登録活動」は毎年登録店舗が増加しており、青少年の健全育成及び非行防止の協力体制の確立と環境づくりに寄与している。																						
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果	⑨																					
		コスト削減優先度評価結果	⑥																					

## 【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>